

『化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメントハンドブック』正誤表

【第1巻】

頁・段・行*(場所)	誤	正
-162・右・ 13	40%	30%

【第2巻】

頁・段・行*(場所)	誤	正
- 右・ 12 -()・執筆者一覧 -117・右・ 1	菅生芳雄	菅谷芳雄

【第3巻】

第11編 11.1 医学の基礎知識

頁・段・行*(場所)	誤	正
-23・左・ 19	アルカロージス	アルカローシス
-23・左・ 23	炭酸はは炭酸ガスと水	炭酸は炭酸と水
-47・右・ 15	問題 2 物の投与経路	問題 2 薬物の投与経路
-53・右・ 4	問題 2 「検死」「検案」「検死」	問題 2 「検死」「検案」「検視」 端的に言うと、医師が行うか警察官が行うかの違いを用語により使い分けているということです。
-53・右・ 17	問題 7 「外窒息」と「外窒息」	問題 7 「外窒息」と「内窒息」
-53・右・ 27	問題 10 「親子鑑定症」	問題 10 「親子鑑定」
-53・右・ 30	問題 11 「血跡検査」	問題 11 「血痕検査」
-74・右・ 2	問題 6 HBS 抗原陽性, HBS 抗体陽性	問題 6 HBs 抗原陽性, HBs 抗体陽性

〔凡例〕 1. [n] は上から数えて n 行目, [n] は下から数えて n 行目を示します。
2. 誤りではありませんが、計算式がまぎらわしい表現になっているものも掲載しました。

第 13 編 13.1 環境管理に関する工学的対策の基礎理論

頁・段・行*(場所)	誤	正
-181・右・ 4	0.05	0.02
-181・右・ 5	0.02	0.001

第 13 編 13.2 労働衛生工学概論

頁・段・行*(場所)	誤	正
-193・右・ 2	換気	換気
-193・右・ 18	少なく	少なく
-196・表 13.2.1.5	局所排気の制御風速 (ft/min)	局所排気の制御風速 (m/s)
-196・右・ 8	t 時間後	t 時間後
-197・左・ 1~18	<p style="text-align: center;">下記囲み内に差し替える． 9・3) 換気量の計算 以下は変更なし．</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>13.2.1.1 で表される．なお，外気有害物濃度を 0 とする．</p> $C = \frac{10^3 W}{60Q} \left(1 - e^{-\frac{60Q}{V}t}\right) + C_0 e^{-\frac{60Q}{V}t} \quad (13.2.1.1)$ <p>C : t 時間経過後の作業環境濃度 (mg/m³) C₀ : 発散開始時の作業環境濃度 (mg/m³) V : 作業場の気積 (m³) Q : 排気量 (m³/min) W : 汚染物質の発散量 (g/h)</p> <p>発散開始時の気中濃度 C₀ が 0 であれば，</p> $C = \frac{10^3 W}{60Q} \left(1 - e^{-\frac{60Q}{V}t}\right) \quad (13.2.1.2)$ <p>有害物質が 25 の気体の場合には，分子量を M，気中濃度を C' (ppm) とすれば，上式は次のように書き換えられる．</p> $C' = \frac{10^3 W}{60Q} \cdot \frac{24.46}{M} \left(1 - e^{-\frac{60Q}{V}t}\right) + C_0 \cdot \frac{24.46}{M} \cdot e^{-\frac{60Q}{V}t} \quad (13.2.1.3)$ <p>また，発散開始時の気中濃度 C₀ を 0 とすれば，</p> $C' = \frac{10^3 W}{60Q} \cdot \frac{24.46}{M} \left(1 - e^{-\frac{60Q}{V}t}\right) \quad (13.2.1.4)$ </div>	
-197・右・ 式 13.2.1.7	C = 50・24.26・W	C' = 50・24.46・W
-197・右・ 式 13.2.1.8	C = 50・24.26・W	C' = 50・24.46・W
-197・右・ 1	温度差による換気量 (m ³ /H)	温度差による換気量 (m ³ /h)
-199・左・ 13	粉じん粒子状の	粉じん，粒子状の
-199・右・ 2	13.2.5 の (2)	13.2.1.4 2)
-200・右・ 10	グラインダーによるには小物	グラインダーによる小物

頁・段・行*(場所)	誤	正
-200・右・13	グラインダーよく	グラインダーによく
-202・右・5	平均風速と最小風速	平均風速と制御風速
-202・右・10	補正係数 (V_a / V_c)	補正係数 (V_o / V_c)
-202・右・11	(13.2.1.3)	(13.2.1.3)'
-202・右・4	(13.2.1.3)	(13.2.1.3) = 変更なし
-203・図 13.2.1.7	図中の数量を表す記号は、すべてイタリック体とする。	
-203・右・5	(13.2.1.14)	(13.2.1.15)
-203・右・10	式 13.2.1.12	式 13.2.1.15
-203・右・12	(13.2.1.15)	(13.2.1.16)
-204～205・ 表 13.2.1.7	表中の数量を表す記号は、すべてイタリック体とする。	
-206・左・2	式 13.1.2.11	式 13.2.1.12
-206・右・9	式 13.2.1.16	式 13.2.1.17
-206・右・15	(13.2.1.16)	(13.2.1.17)
-207・左・6	式 13.2.1.17	式 13.2.1.18
-207・左・8	$P_{Vi} = 0.6 \cdot V_{Ti}^2$ (13.2.1.17)	$P_{Vi} = 0.6 \cdot V_{Ti}^2$ (Pa) (13.2.1.18) V_{Ti} : 搬送速度 (m/s)
-207・右・2～3	矢が記載されている。 それ以外の風量を……	矢が記載されている。空気清浄装置の性能(捕集効率)を最適に保つためにはできるだけ定格処理風量の付近で使用するの望ましいが、それ以外の風量を……
-207・右・6	(13.2.1.18)	(13.2.1.19)
-208・左・2～3	Qs : 定格処理風量 4) 吸引側ダクトの圧損の計算	Qs : 定格処理風量 また、バグフィルター等の隔壁形式の空気清浄装置については、圧力損失が通過速度に比例するという実験結果(-242 頁・図 13.2.2.2(4)-3)もあり、反対に通過速度が乱流域になると圧力損失は通過速度の2乗に比例するという説もある。実際の運転時の状態については大変複雑な要素が影響するので、計画の際にはその都度メーカーの技術資料等を参考にしていきたい〔 -241 頁・左・5・(3) バグフィルター(ろ過除じん装置)参照〕。 4) 吸引側ダクトの圧損の計算

頁・段・行*(場所)	誤	正
-208・右・ 2	(13.2.1.19)	(13.2.1.20)
-208・右・ 14	(13.2.1.20)	(13.2.1.21)
-208・右・ 8	(13.2.1.21)	(13.2.1.22)
-208・右・ 4	$P_{sf} = 311.8 - (- 740.6) = 1052.4$ hPa	$P_{sf} = 3.246 - (- 7.500) = 10.746$ hPa
-209～212・ 表 13.2.1.9～13	表中の数量を表す記号は、すべてイタリック体とする。	
-212・右・ 7	$6 \cdot \textit{sf}$ (13.2.1.22)	$600 \cdot \textit{sf}$ (13.2.1.23)
-213・表 13.2.1.14	表中の数量を表す記号は、すべてイタリック体とする。	
-214・表 13.2.1.15	[5～6 合流] の欄の右端： - 1.387	- 1.557
	表中の数量を表す記号は、すべてイタリック体とする。	
-218・右・ 5	13.2.1.11 (4)	13.2.1.11 4)
-219・右・ 1	13.2.1.11 (1)	13.2.1.11 1)
-223・左・ 11	局所排気	局所排気 ゴシック体とする。
-227・右・ 18	$W = 60 \times 5 \times 20 \times Q \times C \times$ $273 / (273 + t) / 22.4 \times 10^{-6} \times M$	$W = 60 \times 5 \times 20 \times Q \times C \times$ $10^{-6} \times \{ 273 / (273 + t) / 22.4 \} \times M$
-227・右・ 13	$WC = 265 / 0.25 \times 1.1$	$WC = (265 / 0.25) \times 1.1$
-231・右・ 7	$Z = 1.5 \times H_{OG} \times N_{OG}$ $= 1.39$ (m)	$Z = 1.15 \times H_{OG} \times N_{OG}$ $= 1.07$ (m)
-233・左・ 15	0.00001149 kg/kg/K	0.0118 kg/kgDA
-233・左・ 18	1 m ^{3N}	1 m ^{3N} 下付きのNは、空気の標準状態 (0 1013hPa) を表します。
-238・右・ 6	13.2.2.1 (2) 項	13.2.2.1 2)項
-240・右・ 8	直径 D 1	直径 D ₁
-242・左・ 25	(1 -) / ³	(1 -) ² / ³
-244・左・ 21	粒径の3乗にに	粒径の3乗に
-246・左・ 9	前 2) 項	前 (2) 項
-249・右・ 3	産業安全研究所	労働安全衛生総合研究所
-249・右・ 20	パッキング	ガスケット
-250・右・ 8	パッキン	ガスケット